第３回司書部会　まとめ2

生徒への対応（ロールプレイ）

日ごろ生徒と会話をするように、受け答えをすると考えてください。

生徒役は一生懸命生徒役になりきります！

【シーン２】放課後、書架をうろうろしている生徒を発見。

生徒情報：３年生、大学入試まであと３日！

司書： 「何か探しとる？」

生徒： 「週末、受験で面接があるんじゃけど、「最近読んだ本は？」って聞かれた時用になんか読んでおこうかと思って。何かいい本ある？」

司書： （　　　　　　　　　　　）

 本を薦める

 「　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

生徒： 否定的なことを言う

 「えー、・・・・・・　　　」

司書： 対して一言

 「　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

■具体的なロールプレイの例

『君の膵臓を食べたい』…恋愛小説嫌い→今まで読んだ中で好きな本を聞く

『逆転のメソッド』…受験のためのメンタルに役立つよ→スポーツわからない→目次見てみて。どこが読めそう？全部読めそうになかったら５章読んでみて！

気になったら最後のまとめを読んでね。→がんばれそう！

■生徒の否定的な答えに対して

・地元就職が多い場合、郷土に関する本を薦める。

・勉強をしながらでも読める本を、メッセージを添えて渡す（「難しくないよ。」）

・定番のものを薦める（「定番。誰もが読んだものだよ。」）

・本の題名よりも、面接官は、受験者自身を知る手掛かりが欲しいはず。

本の内容を説明することで、自分を知ってもらえるような本を選ぶように薦める。

■どんな本をすすめるか

・前向きな本

・TEDのプレゼンターが書いた本をすすめてみる。動画を見てからだと本もわかりやすいと思う。

・入試まで時間が無いので、その生徒に身近なものをさぐる。

　本の細かな内容より、その生徒が感じたことなどの＋αが伝わるように意識する（させる）

■汎用性が高い本

・例：渡辺和子の著書。『どんな時でも人は笑顔になれる』など（『置かれた場所で咲きなさい』は読んでいる生徒が多いため他の本を薦められるようになっておくとよい）･･･「今のあなたの心を刺激する本よ」

・例：糸川英夫『驚異の時間活用術』･･･「今のあなたにも役立つことが書かれているのよ」「3日で読めるよ」

■共感できる本

⇒坪田信貴『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』

■受験する学科の関連書籍

＜その他＞

・読んでいる本から生徒の思想が見える。「思想で結果を左右するのは良くない」という事で、「最近読んだ本は」という質問はしない傾向にあるが、「趣味は？」という質問に対し、「読書」と答えた場合には、最近読んだ本を訊ねることもある。

・就職の際は、最近この質問はされない傾向にあるそうだが、入試では学部や志望によって聞かれることもあるらしい。